※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3014

令和５年度　数学科

教　科	数学	科　目	数学Ⅱ（通信）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新　高校の数学Ⅱ」（数研出版）						
副教材等	自作プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

問題演習に積極的に取り組むことで、計算力思考力の向上を図る。
小テスト等を実施して、各項目の理解度を確認するとともに、基礎理解の充実を図る。

２　学習の到達目標

三角・指数関数や微分法について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	三角・指数関数や微分法の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	三角・指数関数や微分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。	三角・指数関数や微分法において事象を数学的に表現し処理する技能を身に付けている。	三角･指数関数や微分法における基本的な概念を理解している。
評価方法	興味・関心・態度 知識の定着 レポート提出 定期考査	興味・関心・態度 知識の定着 レポート提出 定期考査	興味・関心・態度 知識の定着 レポート提出 定期考査	興味・関心・態度 知識の定着 レポート提出 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	三角関数	三角比・一般角 三角関数 三角関数の性質 三角関数のグラフ			○	○	a:一般角の三角関数の公式や定理を活用できる。 b:三角関数を用いて表現したり、考察したりすることができる。 c:三角関数の値を求めることができる。 d:三角関数の基本的な性質について理解している。	レポート提出 出席 定期考査
	指数関数と対数関数	指数法則指数の拡張(1) 累乗根・指数の拡張(2) 指数関数のグラフ	○	○		○	a:指数関数の公式や定理を活用できる。 b:指数関数を用いて表現したり、考察したりすることができる。 c:拡張した指数の値を求めることができる。 d:指数関数の基本的な性質について理解している。	レポート提出 出席 定期考査
後期	微分法と積分法	平均変化率・微分係数	○			○	a:微分係数を接線の傾きに活用できる。 b:直線の傾きを平均変化率や微分係数を用いて表現したり、考察したりすることができる。 c:平均変化率や微分係数の値を求めることができる。 d:平均変化率や微分係数の基本的な性質について理解している。	レポート提出 出席 定期考査
	導関数	導関数・関数の増減	○		○		a:導関数を関数の増減に活用できる。 b:関数の増減を導関数を用いて表現したり、考察したりすることができる。 c:関数の増減表を求めることができる。 d:関数の増減の基本的な性質について理解している。	レポート提出 出席 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現

※令和３年度以前入学生用

c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。